

第4章

人物の心情を読み取る (選択問題)

POINT!

- ・赤字を覚えながら読もう。
- ・マークまで読んだら、赤字を赤シートでかくしてテストしよう。

- ① 設問を見る前に「**きちんと一度通して読み**」、話の内容をつかんでおく。
- ② 「人物の心情を読み取る選択問題」の解き方
- ③ 問題になっている人物の(1) **心情やその変化がわかる箇所**を探して印をつける。
- ④ 印の箇所から傍線部におけるその人物の心情を推測し、それともしっかり近い選択肢を選ぶ。
- ⑤ (3) **他の選択肢が誤っていること**を確認する。

MEMO

- ・**解答の順序**を読もう。
- ・わからないときは**POINT**をもっと一度確認しよう。

傍線部に「少し尻を落ち着けた」とあるが、このときの雄太の気持ちとして、最も適当なものを、ア～エから選び、記号で答えなさい。

5



15

10

- ア 自慢じまんしようとした自分の仕事に有希があまり反応しなかったので、じつくりとその説明をしようとはりきっている。
- イ 有希が絵本作家になったことに驚いたが、自分の仕事を話題にすることでその話を続けなくて済んだことに安心している。
- ウ 有希に「オタク臭い」と言われると心配していたが、「賢い」と評価されたことに舞い上がっている。
- エ 有希に自分の仕事を馬鹿にされるかと思っていたが、そうではなかったため安心してている。

解答解説

- ① 波線部①からは、雄太が不安に思っていることがわかる。またその理由は続く文から「自分の仕事の話になったから」だと推測できる。
- また、波線部②からは自分の仕事「オタク臭い」と言われなかったことよって雄太の心情が変化したことがわかる。
- ② ①から、傍線部での雄太の心情は「自分の仕事に、恐れていたように『オタク臭い』と言われなかったことで、安心してている」と推測できる。

15
10
5



TRY

- ・ノートに解いて、答え合わせをしよう。
- ・まちがえた問題番には赤ペンで×をつけておこう。

次の文章は、小学六年生の雪乃が、曾祖父（父の祖父）である、茂三と早朝から農作業をする約束をしていたが、寝坊してしまった場面を描いたものである。これを読んで、後の問いに答えなさい。（岐阜）

これにもっとも近い選択肢は**エ**。

③ **ア**：雄太が自分の仕事を「自慢しようとした」とは書かれていない。

イ：7、8行目から雄太が自分の仕事を話題にしたことを後悔していることがわかるので誤り。

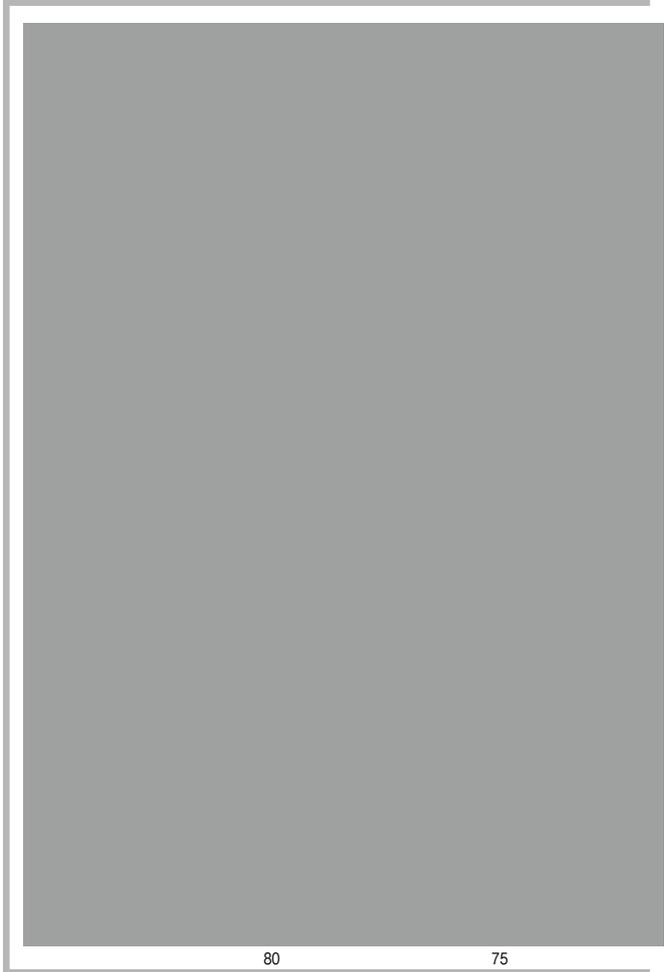
ウ：15行目の「賢いと言われたからどうこうという以前に」から、賢いと
言われたことが感情の変化の主な原因ではないとわかるので誤り。

答え エ

40
35
30
25
20



70 65 60 55 50 45



80 75

(1)

1 茂三の言うとおりだ とあるが、このときの雪乃の気持ちとして最も適切なものを、**ア**～**エ**から選び、符号で書きなさい。

ア 初めは起こしてもらえなかったことに悲しさを感じていたが、ヨシ江から茂三の言葉を聞き、自分は茂三との約束を守っていたのだと気づき、満足している。

イ 初めは起こしてもらえなかったことにいらだちを感じていたが、ヨシ江から茂三の言葉を聞き、自分の言動の無責任さに気づき、後悔している。

ウ 初めは起こしてもらえなかったことに寂しさを感じていたが、ヨシ江から茂三の言葉を聞き、自分に対する期待の高さに気づき、うれしくなっている。

エ 初めは起こしてもらえなかったことに怒りを感じていたが、ヨシ江から茂三の言葉を聞き、自分の思いが茂三に誤解されていたことに気づき、残念に感じている。

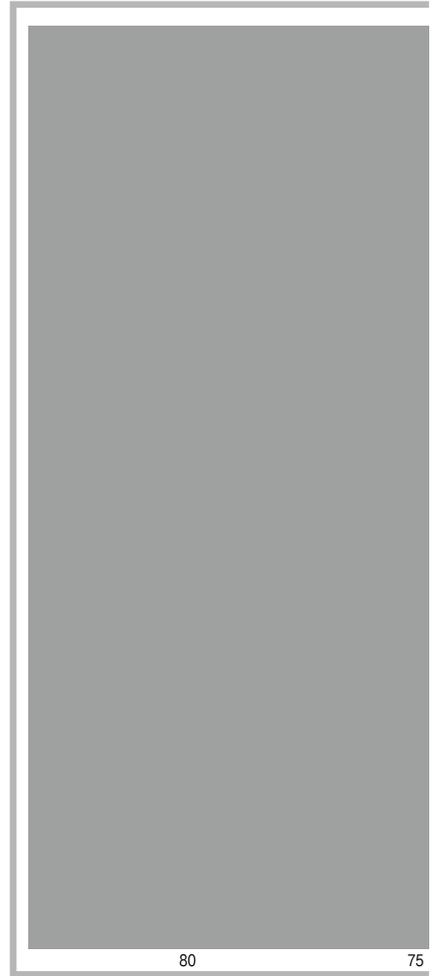




45 40 35 30 25 20



70 65 60 55 50



(1) 「¹複雑な気持ち」とあるが、どのような気持ちか。最も適当なものを次のア～オの中から一つ選びなさい。

- ア 拍手を送って発表を聞いた喜びを里美に届けるみんなの気持ちも分かる一方、自分は進んで拍手を送ることができないという気持ち。
- イ 進路に対する決意を聞いて里美を応援するみんなの気持ちも分かる一方、自分は素直に里美を応援することができないという気持ち。
- ウ 里美の進路の話を聞いて決意の強さに驚くみんなの気持ちも分かる一方、自分だけは里美の話を信用することができないという気持ち。
- エ 里美の淡々とした話しぶりに引き込まれるみんなの気持ちも分かる一方、自分は心から里美の話を楽しむことができないという気持ち。
- オ 里美の進路の話を聞いて心配になるみんなの気持ちも分かる一方、自分は本心から里美の進路を心配することができないという気持ち。

(2) 「²意外だった。」とあるが、麻由子が意外だと思ったのはなぜか。三十五字以内で書きなさい。

(3) 「³里美が、やさしく麻由子をのぞきこむ。」とあるが、このときの里美の心情の説明として最も適当なものを、次のア～オの中から一つ選びなさい。

- ア サヒメ語について真面目に考える麻由子の言葉をおもしろがりながらも、むくれている素直さをいとおしく感じている。
- イ サヒメの言葉どおりに動いてみようとした麻由子を頼もしく感じる一方、部活動を引退するさみしさをかみしめている。
- ウ 自分が抜けたあとも麻由子が集中して練習に取り組めるように、サヒメ語について明快に説明しようと意気込んでいる。
- エ サヒメの言葉を理解しようとしても無駄なのに、何としても理解しようと言問してくる麻由子のことをあわれんでいる。
- オ 一生懸命な後輩と一緒に頑張ったからこそ厳しい練習にも耐えられたのだと感激し、目の前の麻由子に心から感謝している。

第5回【論説】表でまとめる



176

【文章1】、【文章2】を読んで後の問いに答えなさい。(沖繩改)

20 15 10 5

40 35 30 25

終了時刻

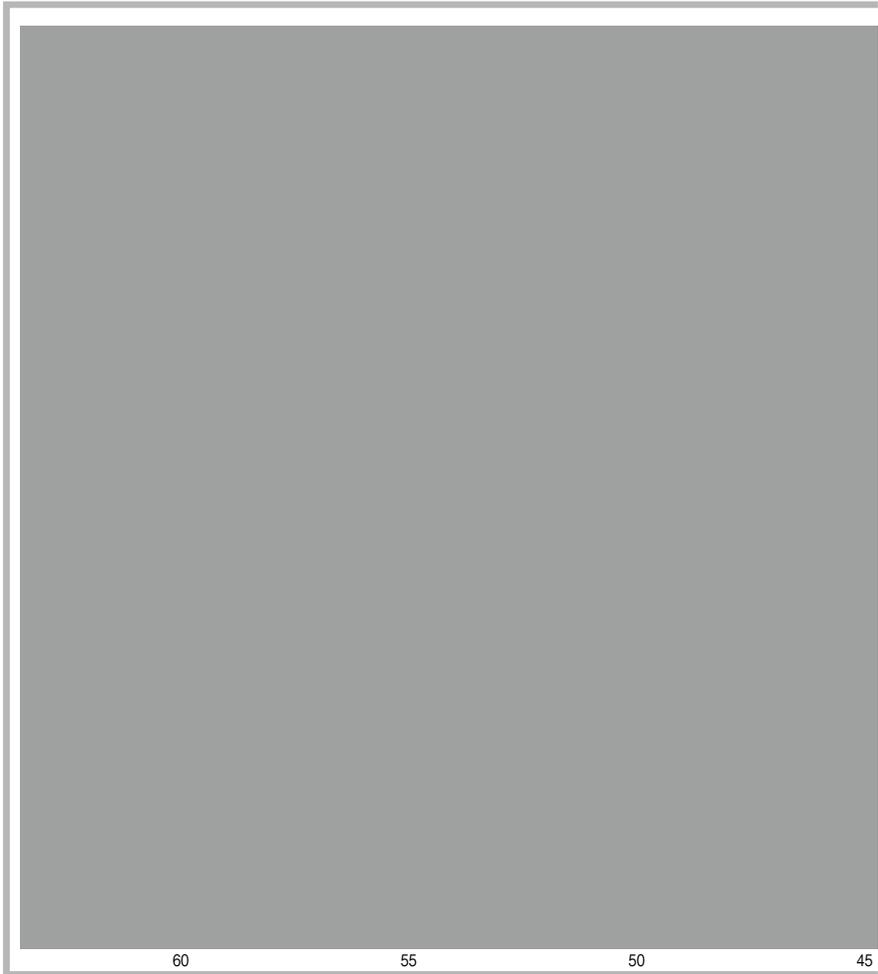
..

分

制限時間
15分



50点



(1) 【文章1】の二重傍線部「進化」の対義語を漢字二字で書きなさい。(10点)

□

(2) 【文章1】の空欄Ⅰに入る語句を本文中より三字で抜き出しなさい。(10点)

□

(3) 次の一文は【文章2】のA～Dのどこに入るか。最も適当な箇所を、
A～Dのうちから一つ選び記号で答えなさい。(10点)

しかし今、生き残っているのは、ホモ・サピエンスです。

□

(4) 次の【資料】は、生徒が【文章1】と【文章2】の具体例を整理したものである。
空欄Ⅱに当てはまる語句を本文中より七字で抜き出しなさい。(20点)

□

【文章2】	【文章1】
<p>○ネアンデルタール人</p> <p>○ホモ・サピエンスより</p> <ul style="list-style-type: none"> ・大きくて、がっしりとした体 ・優れた知能を発達させていた <p>○集団生活をしなくても生きていくことができた。</p>	<p>【白色のガ(オオシモフリエダシヤク)】</p> <p>○白い木の幹に止まって身を隠す。</p>
<p>○ホモ・サピエンス</p> <p>○ネアンデルタール人より</p> <ul style="list-style-type: none"> ・体も小さく、力も弱い ・知能でも劣っていた <p>○Ⅱことができた。</p>	<p>【黒色のガ(オオシモフリエダシヤク)】</p> <p>○ススで真っ黒になった幹では目立たず、鳥に食べられなかった。</p>

環境の変化による困難を乗り越えることができた。





EXERCISE

次の文章を読んで、(1)、(2)の問いに答えなさい。〈栃木〉

20 15 10 5

45 40 35 30 25

終了時刻

..

分

制限時間
17分



50点

(1) に入る語として最も適当なものはどれか。(10点)

- ア だから
- イ では
- ウ ところが
- エ なぜなら

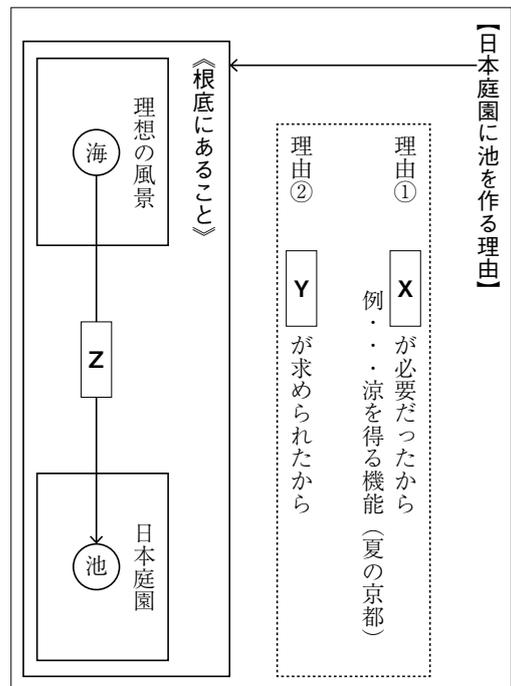


55

50



(2) 日本の庭園には必ず水が引き込まれ、池がつくられるについて、ある生徒が次のようにまとめた。これを見て、(I)、(II)の問いに答えなさい。



(I) X、 Y に入る語句を、本文中から X は六字、 Y は七字で抜き出しなさい。(各15点)

Y	X
-----	-----
-----	-----
-----	-----
-----	-----
-----	-----
-----	-----
-----	-----

(II) Z に入る語句として最も適当なものはどれか。(10点)

- ア 紹介する
- イ 表象する
- ウ 排除する
- エ 直立する

